

古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは

萩原 義雄

日本語の時代区分を知らう

上代じょうだい 文化〔奈良時代〕

中古ちゆうこ 文化〔平安時代〕八世紀の終わりから一二世紀初め
律令政治の時代
撰閣政治の時代

中世ちゆうせい 文化〔鎌倉時代〕
〔院政時代〕

〔南北朝時代〕
〔室町時代〕

近世きんせい 文化〔江戸時代〕
〔安土桃山時代〕

〔幕末時代〕

近代きんだい 文化〔明治・大正時代〕
現代げんだい 文化〔昭和・平成時代〕

※歴史学では、「上代」と云わずに「古代」と総称する。

1868年 1600年

1185年
- 1 -

794年

時代毎に見える古典作品名を知らう

1, 上代文化

『万葉集』『古事記』『日本書紀』『古語拾遺』『高橋氏文』
中古文化

『懷風藻』『文華秀麗集』『經国集』『性靈集』『菅家文集』
『将門記』『日本靈異記』

『竹取物語』『伊勢物語』『大和物語』『平中物語』『宇津保物語』
『新撰万葉集』『古今和歌集』『土左日記』

『和漢朗詠集』『宇津保物語』『蜻蛉日記』
『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『和泉式部日記』

『大鏡』『榮花物語』『堤中納言物語』『更級日記』
※院政期の文化

3, 中世文化
※鎌倉文化

『保元物語』『平治物語』『平家物語』『愚管抄』『神皇正統記』

『十六夜日記』『海道記』『とはづがたり』
『千載集』『新古今和歌集』『金葉集』『山家集』『小倉百人一首』

『方丈記』『徒然草』
『吾妻鏡』『正法眼藏』『歎異抄』『蒙古襲来絵詞』

※南北朝期の文化

『太平記』『曾我物語』『庭訓往來』

※室町文化

『謡曲集』『狂言記』『風姿花伝』『御伽草子』『義経記』

『菟玖波集』

『狂雲集』『中華若木詩抄』

※安土桃山文化

『伊曾保物語』『醒睡笑』『甲陽軍鑑』『昨日は今日の物語』

『田夫物語』

4, 近世文化

『五輪書』『三河物語』『奥の細道』『雑兵物語』

※上方文化

西鶴『好色一代男』『好色一代女』『日本永代藏』

近松『油地獄』『曾根崎心中』『國性爺合戦』

※江戸文化

『假名手本忠臣蔵』『義経千本桜』『菅原伝授手習鑑』

『浮世風呂』『雨月物語』『南総里見八犬伝』『東海道中膝栗毛』

『柳樽』『北越雪譜』『蕪村句集』『一茶集』『良寛集』

5, 近代文化

※開化文化

『西洋道中膝栗毛』『八十日間世界一周』特命全権大使『米欧回覧実記』

『航米日録』『世界國盡』

※明治の文化〔言文一致の文化〕

『小説神髓』『五重塔』『浮雲』『たけくらべ』

『舞姫』『青年』『雁』『渋江抽齋』

『坊っちゃん』『吾輩は猫である』『三四郎』『明暗』

『破戒』『金色夜叉』

※大正の文化

『河童』『ふらんす物語』『人間失格』『斜陽』

『細雪』『刺青』

6, 現代文化

※終戦文化

『伊豆の踊子』『雪国』『金閣寺』『夏の闇』『恋人の森』

※現世文化

『ノルウェイの森』『キッチン』

《今回の課題目標》

ここに、取り上げた作品のなかから、どのような作品に注釈書が編まれているのかを探ることをとっかかりでの目標としたい。その手始めに、注釈書のある作品資料の内容を『日本古典文学辞典』（岩波書店刊）に自らがあたって、その内容を書き取ってみよう。次にとの時代にその注釈書が編纂されているのかを確かめ、その注釈書について調べてみよう。資料は、ご自分で一作品を選択し、その内容を調査してほしい。